

平素より格別のお引き立てありがとうございます。

■ワールドクラブ・NIKKAニュース■

2021年8月23日号

作成者:野口

● シンガポール、一部の外国に対してワクチン済みなら隔離不要

シンガポール政府は新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種済みなら入国時の隔離が不要となる新制度を19日に発表しました。シンガポールは中国など一部の低感染国を除き、入国時に1~2週間の隔離を義務付けてきましたが、自国のワクチン接種が進んだのを受け、水際対策を緩和することとしました。

まずドイツとブルネイから入国する人が対象となっており、9月8日から始めます。

米ファイザー製や中国の科興控股生物技術(シノバック・バイオテック)製など、世界保健機関(WHO)が承認したワクチンを必要回数接種し、シンガポール政府に証明書などを提示して

事前許可を得ることが条件となります。

専用の航空便を利用し、出発前、到着後、滞在中にPCR検査を受ける必要もあります。

香港とマカオからの渡航者については、8月21日から入国規制はほぼ撤廃となります。

出発前検査で陰性なら、ワクチン未接種でもシンガポールでの隔離は不要となります。

日本からの入国は14日間の隔離が引き続き必要ですが、ワクチン接種済みの人は自宅や本人手配のホテルなど、政府指定施設以外で過ごせるようになります。

● 台湾、自国製薬会社開発のワクチン 現地で接種開始

台湾当局は、台湾の製薬会社が開発した新型コロナウイルスワクチンの接種を開始し、蔡英文総統が率先して接種を受けて安全性と有効性をアピールしました。

このワクチンは台湾の製薬会社「メディジェン・ワクチン・バイオロジクス」が開発した「組み換えたんぱくワクチン」というタイプのもので、

台湾当局は先月、20歳以上の人を対象とした緊急使用を許可し23日、接種を始めました。

台湾では先週末までにワクチンを1回打った人はおよそ40%、2回打った人はおよそ3%にとどまっていて、当局は海外からワクチンの調達を急ぐとともに、台湾製ワクチンの投入によって接種を加速したい考えです。

一方、台湾では今のところ感染力が強い変異ウイルス「デルタ株」は広がっておらず、海外から来た人などを除く域内での新規感染者数は今月に入ってから1桁に収まる日が多くなっています。

このため台湾当局は24日以降、1か所に集まることができる人数の上限を、屋内では現在の50人から80人に、屋外では現在の100人から300人に、それぞれ緩和することとしています。

● フィリピン、行動制限を一部緩和 マニラ首都圏など

フィリピン政府は19日、新型コロナウイルスの感染抑制のためマニラ首都圏などで実施している最も厳しい行動制限措置を21日から一部緩和すると発表しました。店舗営業や出勤は規模を縮小して再開する見通しですが、飲食店では店内での営業は引き続き認められていません。

感染力の強いインド型(デルタ型)の感染が広がっており警戒は続いており、マニラ首都圏などでは6日から、4段階あるうち最も厳しい制限措置を導入していました。ほとんどの店舗が休業し、多くの産業で在宅勤務が求められました。21日からは2番目に厳しい制限措置に引き下げています。近隣のラグナ州などでも順次緩和する予定です。

あらゆる業界で業務や営業の再開が見込まれる一方、飲食店に対しては店内での飲食は認めないとしており、持ち帰りや配達のための営業が続く見通しです。

上記内容は、8/23時点の内容となります。ご利用される方は、必ず再度ご自身でご確認頂きますようお願いいたします。

~~~~ニッカ航空サービス 引き続き、毎日営業中!~~~~

営業時間：(月~金) 10:00~16:00 (12~13時は昼休憩・土日祝はお休み)

■急なお客様の対応も大丈夫! 予約・発券は毎日可能♪持ち込みもOKです)

■公示運賃のコミッションをお返しできる券種も御座います。お電話お待ちしております!

TEL (092) 471-0271

FAX (092) 481-0438

平素より格別のお引き立てありがとうございます。

■ワールドクラブ・NIKKAニュース■

2021年8月20日

作成者 坂田

<航空会社運航状況 (最新版)>

CI チャイナエアライン (運航案内)

福岡⇔台北行き CI111/110便、CI117/116便、CI129/128便

日程	対象便
11/01~12/31	全便運休

全ての国・地域からの外国人の入国・トランジットは原則停止されており、日本旅券所持者に対する査証免除も停止しています。
(特例はあり)

OZ アシアナ航空 (運航案内)

福岡⇔仁川行き OZ131/132便、OZ133/134、OZ135/136便

日程	対象便
9/01~9/30	全便運休

全ての日本旅券所持者(外交旅券と公用旅券を含む)は、新たに発給された韓国ビザがない場合は入国できません。

NX マカオ航空 (運航案内)

福岡⇔マカオ行き NX817/818便

日程	対象便
9/01~10/31	全便運休

日本から出発(乗り継ぎを含む)の場合:

- 1) 外国人: 入境禁止。 中国大陸・香港・台湾居民: 入境禁止。
- 2) マカオ居民: 入境可能だが、新型コロナウイルス PCR 検査陰性証明書^注を提示し、マカオ到着後、政府指定場所における 21 日間の隔離+自宅で 7 日間自粛。
- 3) マカオ国際空港でのトランジット(乗り継ぎ)不可。
※政府民航局がマカオ国際空港へ乗り入れる航空会社に対し、マカオ到着便の乗客に出発地の医療機関が発出した新型コロナウイルス PCR 検査陰性証明書^注の提示を求め、提示できない場合は搭乗を拒否するよう要請
(入境条件・規則は予告なく変更になることがございますので、最新の政府関連機関の情報をご確認ください。)

~~~~ニッカ航空サービス 引き続き、毎日営業中!~~~~

営業時間: (月~金) 10:00~16:00 (12~13時は昼休憩・土日祝はお休み)  
TEL (092) 471-0271 FAX (092) 481-0438

平素より格別のお引き立てありがとうございます。

## ■ワールドクラブ・NIKKAニュース■

2021年8月20日

作成者 古賀

**観光庁、コロナ後のMICEに必要な取り組みを明確化、オンライン参加者の行動データ分析やハイブリッド化への対応など!**

トラベルボイス様の8/17付公開記事にて気になるものがありましたので、下記に引用させていただきました。今回もコラム形式で掲載しております。

観光庁は、「新型コロナウイルス収束後のMICEのあり方に関する調査等業務」の公開報告書について、概要版と有識者インタビューから得られた示唆の概要(エグゼクティブサマリー)を追加で公開した。

今回公開された概要版では、事業目的や事業概要のほか、「ヒト(主催者/参加者/MICE人材)」「モノ(施設/設備/開催地/ツール/テック)」「カネ(収支構造/リスクヘッジ/投資)」「コト(開催形態/プログラム/持続可能性)」について、それぞれ変化と課題、今後の方向性をまとめた。エグゼクティブサマリーでは、ウィズコロナならびにアフターコロナの会議のあり方について、2020年9月～11月下旬、2021年1月下旬に有識者にインタビュー。それをもとに、ヒト、モノ、カネ、コトを軸として、国際会議の開催に求められることを整理した。

ヒトの視点では、主催者に対して、複数メディアを通じた情報発信や開催地や関連事業者として可能な支援や手段の提供の検討が必要とまとめた。また、参加者に対しては、オンライン参加から得られた行動データを分析することで、より深化した価値を提供することを求め、さらに、オンラインでは交流での不満や注意力の持続で課題があることから、人間工学的な視点などから快適性や利便性の向上が必要とした。

MICE人材については、海外主催者・関連事業者に対する情報発信に必要な語学力とコミュニケーションスキルやICTに関する知識が必要とされていると提言した。

モノの視点では、会場・施設に対して、感染防止対策の徹底のほか、ポストコロナ時代を見据えて、戦略を持った運営を求めた。また、開催地では、現状を把握したうえで、地域の上位目標や上位計画の意義を見出し、新たな国際会議の対応への方向性を明確にすることを求め、他業種とのコラボでソリューションの開発などを意識することが有効とした。

カネの視点では、会議登録料の変化、国際会議に対するスポンサードの変化に注視し、キャンセルのリスクへの対応の重要性を指摘。ステークホルダーにおいてリスク発生時の対応策や役割の協議・ルール策定などを行っておく必要性を指摘した。

コトの視点では、ハイブリッド形式がすでに一般化する一方、対面式の価値が改めて見直されていることから、開催目的に即した開催形態を採用し、可能性を広げることを提言。また、地域住民の理解や持続可能性に対する意識が高まっていることから、レガシーを含めて開催によるメリットを最大化し、負荷を低減する取り組みの重要性を指摘した。

## 【最後に……】

今回はトラベルボイス様 8/17 付公開の記事を引用させていただきました。

経営する上で必要な3要素(ヒト・モノ・カネ)に分けて記載をされ、以前は3要素で括られていましたが、いまはプラスして「情報」や「技術」を加える事が増えてきています。今回は4番目の要素を「コト」に絞り込んで記載をされていましたが、商品造成やお客様に対して企画を提案する際にも、この4要素が整っていないと、成り立ちにくいのはどの分野でも同じと思われます。オンラインで済んでしまう事であっても、実際にはコロナ禍前のように人と人が会って話をする事によるコミュニケーションの大事さや、工場関係の方であれば、技術の継承・人の育成など、観光以外でも往来が必要となるケースは多々あります。これからワクチン接種が進むにつれて、日本側での体制は整うかもしれませんが、渡航をされる相手国の事情もよく考慮した上で、旅行を検討される方が増えて来ると予想しております。

一例になりますが、福岡市内周辺の上空にて、旅客を運んでいないものの、外資系の航空会社が貨物を搭載して飛行機を運行しているケースが多々あり、お客様より「上空で飛行機を見たけど、海外に行けないのか？」とお問い合わせをいただく事があります。貨物自体の往来がある事はイコールとして、人による製造・開発が行われている事に繋がっていく事からも前述させていただいた「ヒト・モノ・カネ・(サービス業の場合は)情報」の4要素が観光業にとってもお客様にとっても大切な要素である事が分かりやすく書かれている記事でした。

海外旅行をされたい方が沢山おられると思いますので、お手伝いが出来るように努めさせていただきます！

渡航情報は日々変更や緩和がされています。渡航の際には最新の情報入手をお願い致します。

トラベルボイス様 8/17 付 公開より引用

**~~~~ニッカ航空サービス 引き続き、毎日営業中！~~~~**

営業時間：(月～金) 10:00～16:00 (12～13時は昼休憩・土日祝はお休み)

■急なお客様の対応も大丈夫！予約・発券は毎日可能♪持ち込みもOKです)

■公示運賃のコミッションをお返しできる券種も御座います。お電話お待ちしております！

TEL (092) 471-0271

FAX (092) 481-0438